

# 桜・学園地区も さらに前へ!!



## 1 つくば駅の隣に 新たなまちづくりの拠点

つくば駅に隣接している国家公務員宿舎の跡地(通称ナナマル街区)を、新たなまちづくりの拠点とすることを進めています。公務員宿舎の跡地は何の対策もしなければ通常は高値で売れるマンションになることが多いのですが、**財務省と協議をし、つくば市が目指す科学技術を活かしたまちづくりの拠点(イノベーション拠点)の構想に協力**を得られることになりました。今後、市が目指す方向性に賛同する民間企業を募集し、一緒に取り組みを進めていきます。



中学生の提案で復活した中央公園の噴水



応援メッセージ  
山海 直さん(吾妻)

つくば駅周辺が変わりつつあります。吾妻中の生徒たちの「池の水を綺麗にするには循環させなければならない」という発表を聞いた五十嵐さんが動き、**中央公園の噴水が復活**しました。これはほんの一例ですが、あれはただの噴水ではなく、関わった子どもたちの記憶に刻まれ、池の水は少しずつ綺麗になっています。閑散としていた古民家、今はかき氷を求めて訪問する人がいます。多くの研究者が居住しているつくば。**専門知識を集結した構想**などを基に、つくばならではのまちづくりを進めてくれると信じています。これからの街の変化を楽しみにしています。

## 2 妻木金田線の測量開始

桜地区内に計画されている「妻木金田線」は25年前に都市計画決定をされたままになっていました。桜地区の開発に伴い周辺地域の道路渋滞も深刻化してきています。そこで、都市計画決定以来、初めて地区の中で意見交換会を開催しました。道路や地区がどのようなになるのかイメージが必要とのご意見をいただき、道路の計画位置や高さ関係などを示す図面を作成するため、**現在測量を実施**しています。測量後も**丁寧な対話を積み重ねながら、必要な事業を進めていきます。**

## 3 河川敷に新たなグラウンド

つくば市の人口増に伴い、様々なスポーツ活動も盛んになっています。その影響で、スポーツができる環境を増やすことも必要ですが、大規模なスポーツ施設建設には時間も費用も掛かります。そこで、県が保有する桜川の河川敷の土地を、市として活用し**野球やサッカーなどに広く使えるグラウンドを整備**する協議を進めています。



桜川の河川敷



応援メッセージ  
榊原 慎吾さん(吉瀬)

河川敷を有効に活用して、サッカーや野球ができる広い場所を、コストを最小限で整備するという五十嵐市長の方針は**経営感覚にも優れている**と思います。完成を楽しみにしています。

### 地域の皆さんと しっかり連携 していきます



五頭 やすまささん  
市議会議員



伊藤 ふみやさん  
NPO法人代表

# ポスター設置 チラシポスティング ボランティア募集!

いがらし立青のポスターをご自宅やお持ちの土地などに貼ってくださる方を募集しています。  
「貼ってもいいよ」という方はぜひ事務所へご一報ください! (スタッフが貼りに伺います。)

ひとりでも多くの方にいがらし立青の思いを伝えるために、チラシをポスティングして  
くださる方も募集しています。10枚でも20枚でも大歓迎です。ぜひ事務所へご連絡ください!

- G1の「新世代リーダー・アワード」にて、その年最も活躍した若手政治家に贈られる政治部門受賞(19年度)
- 人口増加率日本一(23年)
- 人口増加数一般市で2年連続日本一(22、23年)
- 公約のロードマップと実現力が評価され**マニフェスト大賞優秀賞を2回受賞**(1期目は82項目で進捗率90.4%、2期目は135項目に増やし現在86.1%)
- 世界で約70人のみの市長や知事が選ばれる**OECD(経済協力開発機構)チャンピオンメイヤー選出**
- 3男1女の父として、**ベストファーザー賞(政治部門)受賞**、料理も家事も全力です



ベストファーザー賞(政治部門)受賞  
落語家の桂宮治さんたちと一緒に



多くの国際会議に招待され登壇、  
議論をリード

### いがらし立青のプロフィール

- 1978年 つくば市(桜村)生まれ
- 1997年 並木小学校、並木中学校、土浦第一高等学校卒業
- 2002年 筑波大学国際総合学類卒業
- 2003年 ロンドン大学 UCL 公共政策研究所修士課程修了  
研究助手兼務
- 2004年 つくば市議(1期目)
- 2007年 筑波大学大学院 人文社会科学研究科修了 博士  
(国際政治経済学)
- 2008年 いがらしコーチングオフィス設立  
つくば市議(2期目)
- 2010年 NPO法人つくばアグリチャレンジ設立  
障害のあるスタッフが働く農場  
「ごきげんファーム」を経営(2016年代表退任)
- 2016年 つくば市長(1期目)
- 2020年 つくば市長(2期目)

いがらし立青の活動はSNSでも発信中!



Facebook  
@tatsuo21



Instagram  
@igarashitatsuo



X (旧Twitter)  
@igarashitatsuo



公式LINE  
@dco1718t



[発行元] いがらし立青後援会 青風会

〒305-0854 茨城県つくば市上横場2255  
(元アッセ敷地内バーガーキング跡)

TEL:029-896-9811/FAX:029-896-9812

E-mail info@igarashitatsuo.com

討議資料

# 桜・学園

## 地区が大きく 変化しています

どんどん



46歳

たつお

つくば市長

## いがらし立青

市長就任以来、桜・学園地区の皆様からのお声を数多く伺い、取組を進めてきました。

### 1 つくば駅前窓口センターと市民センターのオープン

長年、つくばの中心部には市民窓口センターがありませんでした。市民の利便性を高めるために、Biviつくばの中に「つくば駅前窓口センター」を昨年12月にオープンし、開業時間も他の窓口より長い19時（受付は18時30分）までとしたところ、早速多くの方に利用されています。また、センタービルをリニューアルし新たな市民センター「コリドイオ」を整備しました。磯崎新さんの建築の意匠を大切にしながら、これまで使い勝手に課題があった市民活動センターの機能も充実させながら、要望の多かった中高生の勉強スペースも数多く用意しました。毎日多くの市民や学生で賑わう場所となっています。



つくば駅前市民窓口センター



センタービルを改修した市民センター



応援メッセージ  
今井 健之さん(千現)

五十嵐市長になる前の市政は、市民の利便性や、市民が活動する場所をつくることなどはほとんど意識されていなかったと感じます。長年求められていた市民窓口センターがついにオープンしたことで駅前に行った際の利用もできるようになったし、センタービルのスペースを有効に活用した市民センターもとてもいいものができました。他にも、新たに地域で集まれる「憩いの広場」にも補助金を作ってくれるなど、地域に何が必要かを理解している五十嵐さんには引き続きがんばってもらいたいです。

### 3 地区相談センターの設置で身近な相談を可能に

地区のご相談を地区内で伺い、たらいまわしにしないで対応するセンターを作りました。現在はすべての交流センターに設置して、数多くのご要望に対して迅速に対応しています。



地区相談センター



応援メッセージ  
一色 喜美子さん(並木)

これまで地区で困りごとや要望があると、市役所の本庁舎まで行かなくてははいけませんでしたが、五十嵐市長になってから作ってもらった地区相談センターは、今はすべての交流センターにあり、職員さんが丁寧に対応してくれます。たらいまわしにされることもなく、返事も交流センターからもらえ、市民と行政の距離を大きく縮めてくれたと思っています。

### 4 流星台スケートボードパーク開設

桜庁舎の跡地に、スケートボードパークをオープンしました。東京オリンピックのコースも監修したチームの設計で、初心者が始めやすく、上級者でも楽しめるコースとなり、市内はもとより市外や県外からも多くの人が訪れています。また、その隣には民間の有志のみなさんによる「プレイパーク」や、同じくボランティアによって整備されたこども向けのマウンテンバイクコースもでき、アウトドアで全力で遊べる環境が整っています。



流星台スケートボードパーク

### 2 土浦とつくばの境界に新しいインターチェンジ設置が決定

土浦市とつくば市の境界に新しいインターチェンジの設置が決定しました。インターチェンジ自体は土浦市側ですが、土浦市と連携し、つくば市でも周辺道路の整備などを全面的に協力し進めていきます。つくばの東側の玄関口として中心部へのアクセスもとても良くなりますし、インターチェンジ周辺でも早速キャンプ場など活性化の動きが生まれています。



引用：国土交通省発表資料



応援メッセージ  
中嶋 弘行さん(古来)

土浦市との境界にある桜地区は、五十嵐市長になる前は市の取り組みはほとんど何もありませんでした。今回、新たなインターチェンジができることで、桜地区に大きなインパクトがあると思います。インターチェンジから降りてすぐのところには自然豊かな環境がある桜地区は、キャンプや自然体験など多くの可能性があります。他自治体と上手に連携して進めてくれている五十嵐市長にこれからも活躍してもらいたいです。

### 5 協議会の活動を全面支援

就任前は各地の歴史ある市街地から「取り残されている」「行政が目をつけてくれない」との数多くの声を聞きました。そこで、就任後すぐに、市役所の中に各市街地を支援する組織を作りました。そして、栄地区でもみなさまと対話を重ね、地域が主体の協議会を立ち上げる支援をしました。協議会のみなさんによるマップ作りや絵本作り、家庭菜園教室の運営、川遊びや街歩き、フリーピアノなど、栄のまちなかから周辺地区での魅力的な活動を数多く実施しています。



多くの参加者がいる菜園のイベント

### 6 中央図書館のリノベーション

建築して年数も経つ中央図書館のリノベーションを進め、まずは勉強等に使える座席数を大幅に増やしました。来年度は今まで活用されていなかった中庭に出られるようにしウッドデッキ等を整備しより快適な空間にリニューアルしていきます。



座席数を増やした中央図書館

### その他にも数多くの取組を進めています

#### ● 国の「脱炭素先行地域」に選定

つくば駅前のエリアを再生エネルギー100%のエリアにするために、国から5年間で最大50億円の補助金が交付予定。

#### ● 桜給食センターの建設

老朽化した桜給食センターを新設しています。つくば市の給食センターでは初めて炊飯ができる施設にし炊いてから間もないご飯を学校に届けられることができるようになる他、環境にも配慮し廃棄物が限りなくゼロに近い施設にします。

#### ● 中根金田台小の建設と栗原小の小規模特認校

人口増加が進む中根金田台エリアに新たな小学校を建設中。それに伴い、栗原小を「小規模特認校」として魅力ある取り組みをする学校にし、地元はもちろん市内全域から通える学校にしていけます。